

## (9) 西予ブロック (西予市)

### ～産地づくり～

県育成品種等や基盤整備地に導入する戦略品目等を基幹品目として、気象や立地条件等地域の「強み」を活かした生産体制の強化を図るとともに、今後新たな産地化に向けた品目等について、市場情勢の変化への対応やマーケットの開拓等出口戦略を見据えた生産振興と、それを維持するための労働力確保等中長期的な産地づくりに取り組みます。

### ～推進品目や産地づくりの方向～

#### ○売れる米づくりと水田フル活用による産地強化

##### 【取組】

- ①減農薬・省力栽培や「ひめの凜」の高品質生産の推進
- ②適切な施肥時期、施肥量推進による良食味産地の確立支援
- ③スマート農業技術の導入推進
- ④良食味米産地としての認知度向上及び販路拡大対策の推進

##### 【成果】

- ①・減農薬栽培や省力技術普及を目的とした実証ほ設置：27カ所  
・「ひめの凜」の高品質生産を目的とした実証ほ設置：7カ所
- ②・「ひめの凜」1等農家比率：71% (前年89%)  
・良食味分析点数：168点 (前年124点)
- ③・労働負担軽減を目的とした自動給水装置の実証試験：2カ所  
・田んぼダム推進にあたり水位計(farmo)を設営し実証試験  
・GPS付き農機やドローンを導入が始まる
- ④「西予米No.1コンテスト」で4人表彰、栽培歴公表



スマート農業機器の設置

#### ○魅力あるかんきつ産地の維持

##### 【取組】

- ①温州みかんの高品質生産を目指し、定点調査や果実肥大調査の結果等を踏まえた芽花管理や摘果、剪定技術を指導
- ②4Hクラブで4種類の肥料を活用した実証圃を設置
- ③小学校への出前授業を年4回実施

##### 【成果】

- ①・温州みかんの高度な栽培技術の習得  
・荷受数量：明浜町730t (前年比77%)  
三瓶町1,740t (前年比79%)
- ②慣行肥料と同程度の生育促進効果を確認
- ③小学5年生児童18人の農業への興味喚起を促進



西予米No.1コンテスト

#### ○県下最大の野菜産地の維持・発展

##### 【取組】

- ①耐病性品種導入によるきゅうりの生産振興
- ②夏季高温対策による生産安定推進等によるトマトの生産振興
- ③いちごの省力化技術やIPM(※)への取組を強化
- ④さといも栽培の推進
- ⑤大野ヶ原地区における寒地系にんにくの産地育成を支援

##### 【成果】

- ①耐病性品種11.3haで導入
- ②・遮光資材等の利用による高温対策の実施  
・生産量163.7t(前年99%)、栽培面積2.0ha (前年比95%)
- ③省力化のためのIPM技術導入農家：20戸
- ④さといもの栽培面積2.6ha
- ⑤・栽培マニュアル改訂  
・栽培研修会3回実施  
・地元高校生等と連携したPR活動(体験交流会)の開催  
・生産量2.7t、栽培面積1ha

(※) IPMとは、利用可能なすべての防除技術(耕種の防除、物理的防除、生物的防除、化学的防除)の経済性を考慮しつつ、総合的に講じることで病害虫・雑草の発生を抑える技術



粗摘果講習会



ほ場巡回による  
IPM活用支援

## ○中山間地域の果樹振興、ゆず・くり産地の強化

### 【取組】

- ①ゆずの安定生産対策を推進するため、整枝剪定等を重点指導
- ②青ゆずの出荷促進を図るため、出荷体制の整備等を実施
- ③くりの高品質生産を推進するため、低樹高化等を重点指導

### 【成果】

- ①ゆず出荷量：445 t（前年比67%）
  - ②青ゆず出荷量：6.12 t（前年比94%）
  - ③・くりの販売階級2L以上：89%（前年比108%）
    - ・「奥伊予特選栗」認定：37園地（前年比95%）、特選栗出荷量：28 t（前年比74%）
- ※「奥伊予特選栗」：厳しい園地審査等をクリアした大玉の特選栗



ゆずの剪定指導



奥伊予特選栗審査会



さといもの現地研修会



ねぎ生育状況調査

## ○基盤整備等を契機とした高収益野菜の産地化

### 【取組】

（宇和町伊延西地区）

- ①農林水産研究所と連携し、さといも現地技術実証ほ場を設置
- ②かぼちゃの作型を冬作から夏作に変更

（野村町太田権現地区）

- ①加工用青ねぎについて、収穫予測システムの精度向上に向け、定期的に生育状況調査を実施
- ②加工用ケールについて、定期的に栄養診断を実施し、施肥量を検討

### 【成果】

（宇和町伊延西地区）

- ①さといもの収量 3.3 t
- ②夏作かぼちゃの収量 2.4 t

（野村町太田権現地区）

- ①・収穫予測システムの導入により、巡回に要する労働時間を削減
  - ・加工用青ねぎの省力化に向けた栽培体系確立
- ②栽培マニュアルへの反映等により施肥管理を徹底

## ～地域づくり～

担い手不足と荒廃農地の増加を解消するため、生産基盤の整備を進めると同時に、担い手への農地集積と生産性の向上を図り、地域が一体となって農地を継承していくシステムを構築するとともに、生産基盤のない新規就農者をサポートするなど、農家子弟を含めた幅広い担い手の育成に取り組みます。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

## ○地域を支える担い手の確保と育成

### 【取組】

- ①生産基盤整備の実施と担い手への農地集積を促進
  - ・伊延西地区：R元～6、A=17.9ha（R4：80,466千円）
  - ・野村地区：R2～6、A=7.8ha（R4：53,052千円）
- ②法人の経営改善相談や高収益作物の作付け体系検討により、水田農業の担い手育成を支援
- ③かんきつ地帯の集落営農活動を促進
- ④各種研修会により、認定農業者の資質向上を支援

### 【成果】

- ①・伊延西地区：用排水施設整備・区画整理等を実施、換地業務
  - ・野村地区：区画整理・電柱移転を実施、換地業務
- ②・伊延西地区：水稻・麦・大豆中心の営農体系を整備
  - ・太田権現地区：高収益野菜（青ねぎ・ケール）の営農体系構築
- ③設立した法人経営発展のため早期成園化に向けた研修会等実施
- ④農作業の労働軽減を図るためアシストスーツ普及開始



ほ場整備施工状況



農作業受託について検討

## ○新規就農者の確保と定着支援

### 【取組】

- ①就農希望者に研修の受講を積極的に誘導
- ②新規就農者（独立自営）に対して、支援制度の紹介と経営開始計画の策定を指導
- ③年収1千万農家の育成を目標に、重点対象農家に生産技術や経営ノウハウを指導
- ④明浜地区で新規就農支援事業を推進

### 【成果】

- ①就農準備研修受講者：新規3人（研修先：JA）
- ②認定新規就農者：3人（夫婦共同含む）を認定
- ③栽培品目の変更（施設きゅうり⇒ミニトマト）：1人
- ④事業申込者：2件



新規就農者現地指導

## ○農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策

### 【取組】

《農業用ため池》

- ①要改修ため池改修又は廃止の計画的実施
- ②耐震不足のものを計画的改修
- ③防災重点ため池を優先して、ハザードマップを作成

### 【成果】

- ①防災重点ため池廃止：1か所
- ②ため池の耐震対策本年度実施：0か所
- ③防災重点ため池のハザードマップ作成：37か所



ため池の廃止（施行中）

## ○農地の保全管理と集落機能の維持

### 【取組】

- ①農地等の保全管理の共同活動支援

### 【成果】

- ①多面的機能支払交付金：134,981千円
- ①中山間地域等直接支払交付金：251,891千円  
（151組織、1,707ha）



多面的機能活動

## ～県内一の畜産地帯の維持・発展～

### 【取組】

- ①耕畜連携を推進（飼料米、飼料イネ、稲わら利用）
- ②飼料作物等自給粗飼料生産の維持・拡大
- ③優良後継牛の確保を推進（家畜の遺伝的能力評価）
- ④母牛能力に適した凍結精液の選定指導
- ⑤愛媛あかね和牛の生産性向上のための技術・管理指導
- ⑥飼養管理施設、機械設備の導入を推進

### 【成果】

- ①作付面積（実績） 飼料米：1.6倍、飼料イネ：2.1倍  
（5年前との比較）
- ①「耕畜連携連絡協議会」を設置、今後の連携体制を構築
- ②飼料米、飼料イネ及び稲わら生産  
作付面積（実績）：飼料米 78ha（前年比115%）  
WCS 100ha（前年比122%）
- ②飼料作物のツマジロクサヨトウ初期防除指導（6農家の観察指導）
- ③④繁殖牛農家重点指導：4農家計画  
（母牛能力を向上させる飼料給与量・交配実施）
- ⑤あかね和牛生産性向上のための能力の高い受精卵確保：67個  
後継牛：4頭
- ⑥飼料生産機械導入件数：18件（32,563千円）
- ⑥新技術導入のための施設改修件数：8件（12,847千円）



飼料用米収穫



和牛の適正な交配  
・飼養管理の推進